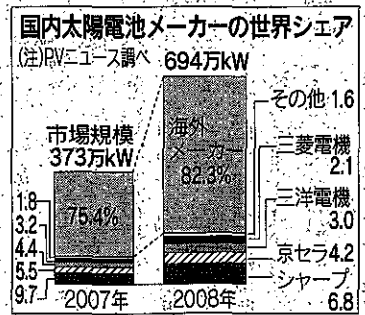


太陽電池で積極投資

三菱化学 製造コスト1/10

京セラ 生産能力を倍増

三菱化学は現在主流のトが10分の1程度になる太陽電池に比べ製造コスト「有機薄膜太陽電池」を実用化する。京セラは12月産能力を倍増し、生産コストを引き下げる。太陽電池では低価格の中国メ



アジアン・ダイナミクス

識者に聞く③

日米の不協和音が高まっている。関係の悪化でアジアでの勢力均衡が崩れると、安定した環境は損なわれて米の強固なつながりはアジアの安定に役立つ。日米は対米外交の再定義を試みているようだが、より確かな信頼関係の構築に結びつくことを期待する。関係の破綻を望んでいる国などない。

シンガポール国立大学大学院院長 キショール・マブバニ氏



1948年シンガポール生まれ。後、国連大使や事務次官を歴任。シンガポール国立大学卒業。2004年から現職。アジアの視点から国際政治を分析する。カンボジアなどに勤務した経験も持つ。

アジア安定の大前提

力関係に変化

「中国は南シナ海の領有権問題を抱えている。シンガポールは米国の動を取るとは思えない。安全保障に不可欠だ」という意見は、すべてで無理はないはずだ。

「ただ、世界は地政学...」

「対米姿勢は...」

「米国の対米追...」

「主張する日本...」

「ASEANや日本...」

「ただ、世界は地政学...」

「対米姿勢は...」

「主張する日本...」

「ASEANや日本...」

「33年間の外交官生活で目の当たりにした日本外交の『主体性の欠如』(同氏)。対米追従に不満を示し、健全な姿でないと断じた。だが日米関係の弱体化がアジアの利益を損ねるとの立場は明確だ。『強固な日米関係』への期待を繰り返して強調した。

「33年間の外交官生活で目の当たりにした日本外交の『主体性の欠如』(同氏)。対米追従に不満を示し、健全な姿でないと断じた。だが日米関係の弱体化がアジアの利益を損ねるとの立場は明確だ。『強固な日米関係』への期待を繰り返して強調した。

「33年間の外交官生活で目の当たりにした日本外交の『主体性の欠如』(同氏)。対米追従に不満を示し、健全な姿でないと断じた。だが日米関係の弱体化がアジアの利益を損ねるとの立場は明確だ。『強固な日米関係』への期待を繰り返して強調した。

「カーなどがシェアを伸ばしている。折り曲げがばして...」

「三菱化学の有機薄膜太陽電池はシリコンを使わず、炭素など安価な材料を使うため、将来の製造コストが10分の1程度に...」

「京セラは太陽電池セルの12年3月期の生産量を...」

「ただ、世界は地政学...」

「ただ、世界は地政学...」

「ただ、世界は地政学...」

「ただ、世界は地政学...」

「ただ、世界は地政学...」